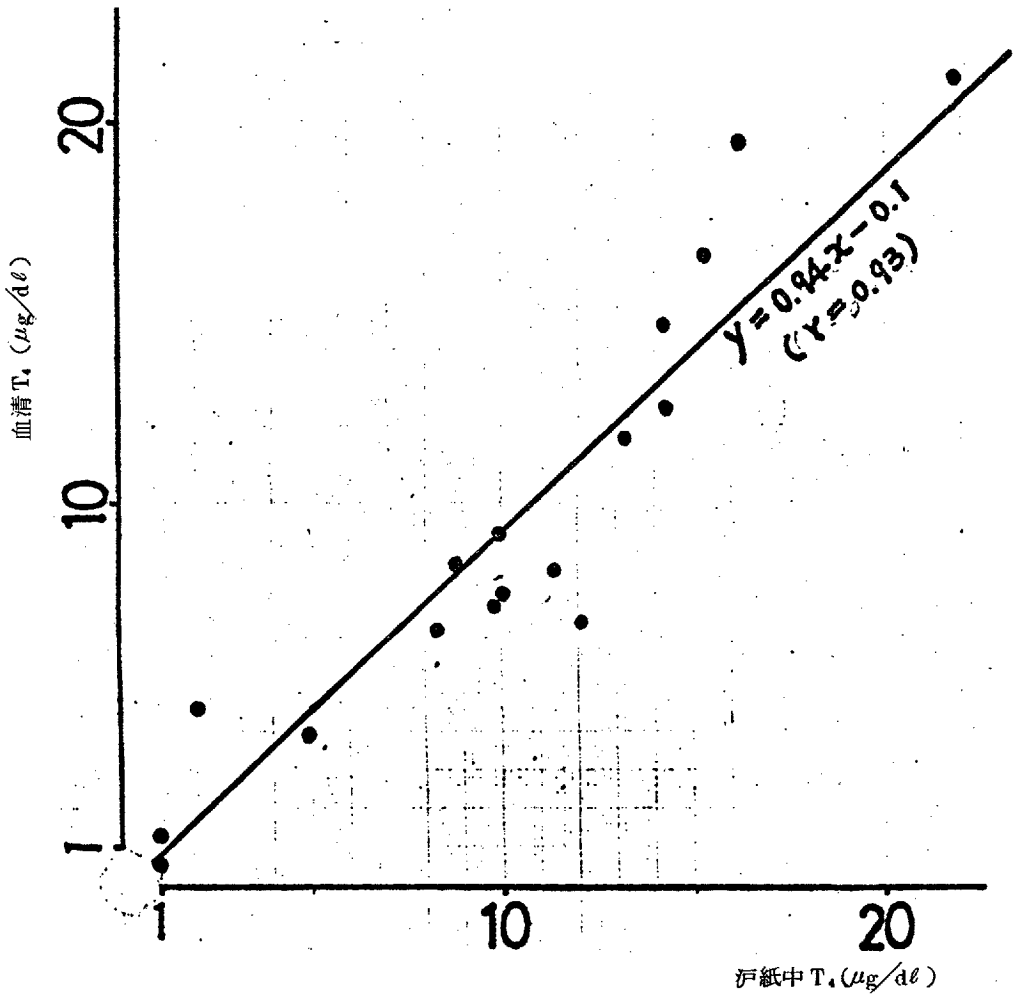


(図2) 尿紙中T₄と血清T₄との関係



先天性甲状腺機能低下症の早期発見に関する研究班報告書

久留米大学小児科 山下文雄

(I) クレチン症スクリーニングの現状

1979. 1. 31 現在、スクリーニング総数 19,077名。発見患者数は4名であった。うち1名は transient hypo thyroidism であった。その他にTSHによるスクリーニングで false negative であったTRH単独欠損症が1例あった。

②) T_4 によるクレチン症スクリーニング

ダイナボット社の Thyroscreen kit による血液ろ紙 T_4 スクリーニングの基礎的検討を行った。ダイナボット T_4 RIA kit を用いて測定した血中 T_4 値と血液ろ紙 T_4 値の相関は、相関係数 $r = 0.91$ と良好であった。又、新生児期の T_4 値を測定した結果、平均 $13.5 \mu\text{g}/\text{dl}$ 、標準偏差 $3.2 \mu\text{g}/\text{dl}$ ($n = 258$) であり、甲状腺機能低下症と明確に区別できた。

(図1)、今後 cut off point についての検討予定である。

③) 母乳中の T_3 、 T_4 値の検討

Varma^{*}等の抽出法を用い母乳中より T_3 、 T_4 を抽出し、ダイナボット T_4 RIA kit (PEG法) および T_3 RIA kit (PEG法、Resin法) を用いて測定した。母乳中の T_4 値は平均 $2.87 \mu\text{g}/\text{dl}$ 、標準偏差 $1.61 \mu\text{g}/\text{dl}$ ($n = 66$) であった。月令における変動は1ヶ月以内にやや低値を示す以外は大きな変動を認めなかった。(表1)。 T_3 値に関してはPEG法とResin法に著明な差があり、Resin法では高値を示した。その理由については現在検討中である。

(表1)

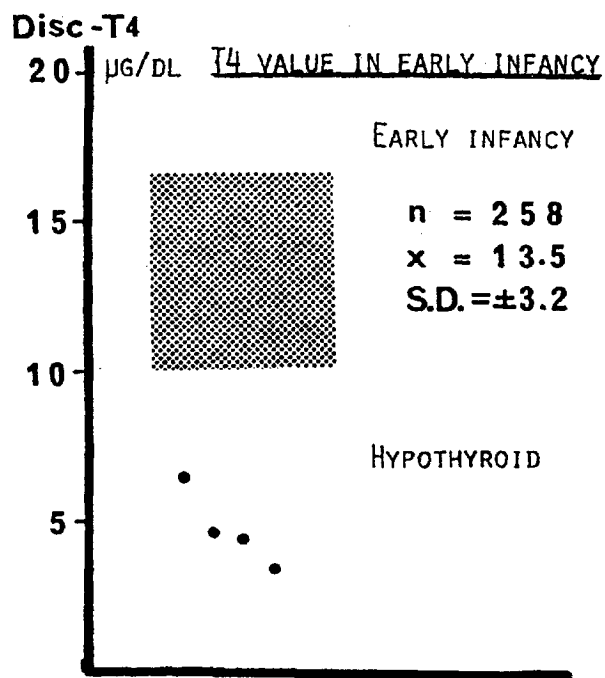
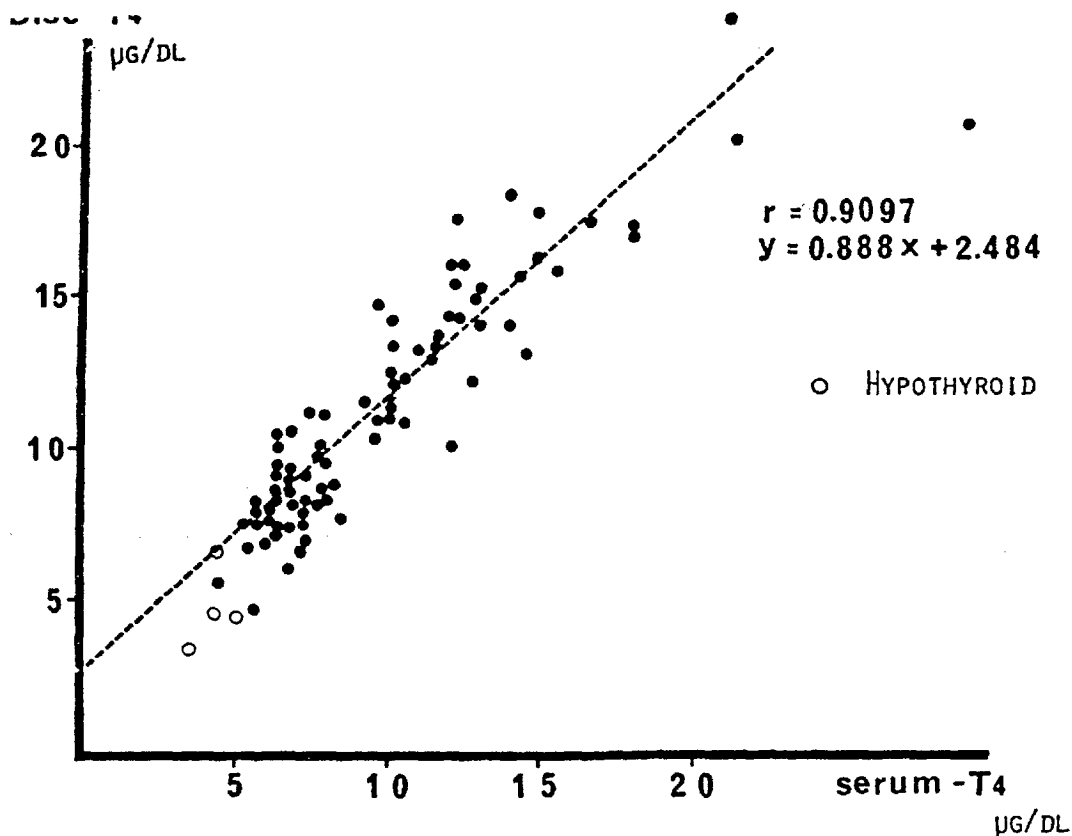
T_4 IN HUMAN MILK

	FIRST-1 Mo.	--2 Mo.	--3 Mo.	--4 Mo.	--5 Mo.	5 Mo. --
MEAN $\mu\text{g}/\text{dl}$	1.83	3.13	3.93	2.71	3.60	3.3
S.D.	1.44	1.59	1.73	1.09	1.18	0.91
N =	18	21	9	9	3	6

TOTAL N = 66

$\bar{X} = 2.87 \mu\text{g}/\text{dl}$

S.D. = 1.61



↓ 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

()タレチン症スクリーニングの現状

1979.1.31 現在、スタリーニング総数 19,077 名。発見患者数は 4 名であった。うち 1 名は transient hypo thyroidism であった。その他に TSH によるスクリーニングで false negative であった TRH 単独欠損症が 1 例あった。